



素晴らしい卒業式になりました！ ～卒業証書授与も「別れのことば」も素晴らしかった～

3月20日(火)に平成29年度卒業証書授与式を行いました。卒業証書授与では、3つ感心したことがありました。一つ目は、登壇して会場を向き、呼名されると全員大きな声ではっきりと返事ができたことです。二つ目は、卒業証書を受け取る際に背筋をピンと伸ばして私の目を真っ直ぐ見つめるのですが、練習の時から誰一人として視線が下がってしまう子どもはいなかったことです。三つ目は、受け取った後、一歩下がって丁寧にお辞儀をする際、今年度は会場にいる人全員に卒業証書が見えるように一度賞状を上に掲げるのですが、それがきちんとできていたことです。小気味よい程一つ一つの所作がきちんとしており、「素晴らしい態度だなあ！」と渡しながら感心していました。



卒業証書を授与する際、今年度も私から、一人一人に頑張ったところを「飼育栽培委員会の委員長として休み時間にハッピーや金魚の世話をしていました。君はとても働き者です。」というように一言ずつ贈りました。

卒業式後半の「別れのことば」での呼びかけと合唱も、卒業生も在校生も大変素晴らしかったです。特に、六年生の呼びかけは、全員セリフがあるのですが、全ての子どもが心を込めてはっきりと大きな声で言え、全員で言うところはよく声が揃っていてとても感動しました。さらに、在校生と卒業生の歌は心を強く揺さぶられるものがあり、胸に熱いものがこみ上げてきました。



来賓や保護者の方々から、口々に「本当に感動的な卒業式でしたね！」という温かい言葉をかけていただき、舞鶴小学校の素晴らしさ、そこで学ぶ子どもたちの素晴らしさを改めて感じました。

達成感を感じ次の意欲につながる修了式になるように！

本日、今年度の修了式が行われました。その中で、各学級で今年度、もしくは今学期一番頑張ったことを写真や動画を通して紹介し、その成長を褒め、さらにその賞状を授与しました。そして、「今年度の成長を皆さんの自信にして、友だちと協力しながら自信と勇気をもって積極的に来年度も頑張らしましょう」と呼びかけました。また、1学期の始めに立てた目標を達成できたかどうか聞いてみました。それは、今年度の自分のがんばりを振り返り、その成長に自信をもち、新たな目標をもって進級できるようにするためです。子どもたちにとって来年度につながる修了式となったと思います。

卒業式に贈るはなむけのことば ～心に届くように～

今回は、卒業式の時に卒業生に贈った「はなむけの言葉」を紹介します。全文ではなく、一番大切な部分のみ抜粋して掲載させていただきます。

卒業式「はなむけのことば」

(前略) 六年生になり、皆さんは、今度は学校のリーダーとして児童会活動や委員会活動、縦割り班活動などを通して全校の子どもたちのためによく働いていました。皆さんの卒業文集を読んでもみると、このような文章がありました。

最高学年の六年生になり行事がたくさん増えました。まず一年生を迎える会です。一年生と入場から退場まで、一年生の発表以外是一緒にいました。その時、一年生は、とてもかわいかったです。

この文章には一年生のためにああしてあげたとかこうしてあげたとか書いてありませんが、皆さんは本当によく一年生の面倒をみてあげていました。だから、一年生が皆さんのことを信頼し「とても可愛かった」のです。

このように皆さんは、様々な場面で下級生のお世話をし、舞鶴小のために活躍してきました。アドラーの心理学の創始者アルフレッド・アドラーは「人は、人のために働き、人に貢献していると実感する時に本当の幸せを感じる」と言っています。これからも人に貢献する人であってほしいと思います。

修学旅行が終わって、朝礼台で校長先生の話の時に「校長先生はたくさんの修学旅行に参加しましたが、今回の修学旅行が最高でした」と言ったのを覚えていますか？ 皆さんは本当に素晴らしい修学旅行を経験しました。あの修学旅行は、なぜ、あのように素晴らしかったのでしょうか？

卒業文集の中にこんな一節がありました。

修学旅行全体がとても楽しかったのですが、その中で一つ上げるとしたら「鎌倉散策」です。鎌倉散策では、鎌倉という大きな街を班員六人で散策しました。散策する前は迷子にならないか心配でしたが、散策し始めるとみんな協力しながらどんどん歩いていけました。時間に間に合わなくなりそうな時は、人込みの中を走ってすごく疲れましたが、ゴールの江ノ島に着いた時は達成感と感動でいっぱいになりました。

どうですか？ 江の島の輝く海を見つめ、感動している笑顔が見えてきませんか？ そこに仲間がいて、仲間と協力しながら歩いたから、道に迷うことなく進むことができ、人込みの中を走って疲れても、ゴールで達成感を感じ感動でいっぱいになったのです。

そう、仲間と協力して何かを成し遂げることは、とても素晴らしいことです。これからも、友達を、仲間を大切に、仲間とともに困難を乗り越えられる人でいてください。

そして、皆さんを見ていると思い出すのが運動会のあの素晴らしい組立体操です。

卒業文集には、こんな文章がありました。

ベストワンは六年生最後の運動会です。その中でも組立体操が一番心に残りました。僕は、全ての技が土台でした。二人技のサボテンも三人技のタワーも十人技のピラミッドも土台でした。痛いと思う時もありました。ですが、本番、僕は全力を出しました。そして

終わって歓声を聞いた時は嬉しかったです。最高の思い出になりました。校長先生が観ていて、誰一人として、いい加減に取り組む人はいませんでした。全力を尽くしていましたね。これからも、常にベストを尽くす人でいてください。(中略)

「人に貢献すること」「仲間とともに困難を乗り越えること」「常にベストを尽くすこと」「家族を大切にすること」この4つをこれからも心がけてください。(後略)

平成30年3月20日 甲府市立舞鶴小学校

校長 相河 竜治